

# まるごとだより 第10号

にぎわいある農村をみんなで守り育てよう



## 目次

☆平成21年度の各地域での取り組み紹介

☆平成21年度内に『体制整備構想(案)』を作成してください。

☆わたしたちもがんばっています。パート1  
「世代をつなぐ尼子協議会」

☆湖南省の取り組みを紹介し  
ます。  
(湖南省)

☆わたしたちも  
がんばっています。パート2  
「下古賀水と緑を守る会」  
(高島市)

発行 (2009.9)

滋賀県世代をつなぐ農村  
まるごと保全地域協議会

〒521-1224

東近江市林町601番地  
水土里ネット滋賀内

電話 0748-42-4806

FAX 0748-42-5574

Email: kyougikai@shiga-

nouson-marugoto.com

## 平成21年度の各地域での取り組み紹介

滋賀県世代をつなぐ農村まるごと保全地域協議会にお寄せいただいた、各地での様々な取り組みをご紹介します。皆さんからの色々な情報をお待ちしています。



米作り体験を3回に分けて行います。まず、田植え、2回目は9月に稲刈り、ハサ掛け。3回目は、足踏み脱穀機による、「稲こき」を予定しています。

その日にモミすり、精米をして、コシヒカリの新米を持って帰ってもらいます。米作りの大切さ、おもしろさ、自然環境の大切さを体験。田植えの日はあいにくの雨でしたが、親子で楽しみました。

金堂農水環境保全協議会  
(東近江市五箇荘金堂町)

私たちも濁水ゼロに取り組みます！  
～農地・水・環境を守る  
「いちの清流の里」～

「世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策」  
濁水ゼロに挑戦！

水・肥料・労力  
を減らす

◆農業排水の汚れは、必要以上の用水取水による排水口からの無駄な放流、あぜからの漏水が主な原因となっています。

◆こうした原因を無くすことで、従前を是れとする豊かな水環境を次世代に引き継げるだけでなく、営農面でも効果を発揮します。

～排水口からの無駄な放流やあぜからの漏水を無くし、  
水・肥料・労力を節約しましょう～



濁水防止ののぼりの設置や透視度調査などの様子をまとめたチラシを作成し、農家に配布しました。「世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策」の濁水ゼロに挑戦する取り組みを皆さんにお知らせし、取り組みの意義や目的を理解していただくことにより、更なる活動の広がりや活発化を目指しています。

農地・水・環境を守る『いちの清流の里』  
(甲賀市甲賀町樺野)



びわ湖に「ニゴロブナ」を復活  
させようと、この水田に稚魚を  
放流しています。

6月6日、30aの水田にニゴロブナの稚魚約5万匹を放流しました。

今年で5年目になりますが、約2ヶ月で最大5cmまで大きくなった稚魚を8月8日に河川に放流しました。

又今年も、成長したニゴロブナを守る為、子どもたちと水路の魚つかみをして外来魚の有無を確認するとともに、琵琶湖固有の魚を観察したいと計画しています。

喜多水と緑を守る会  
(守山市川田町)

## お知らせ

★平成21年度地域協議会の主要事業計画の予定をお知らせします。

◎第1回 農村まるごと保全技術研修会  
(実施済)

日時；8月22日(土)

13:30~17:00

場所；高島市安曇川町  
(藤樹の里文化芸術会館)

テーマ；豊かな田園の生きものを育む取り組み

◎第2回 農村まるごと保全技術研修会

期日；10月17日(土)

場所；湖南市

(石部文化ホール)

テーマ；施設を長持ちさせる取り組み

◎人・生きものにぎわう農村フォーラム  
“2009”

期日；11月14日(土)

場所；守山市三宅町

(守山市民ホール)

◎第3回 農村まるごと保全技術研修会

期日；12月12日(土)

場所；長浜市

(浅井文化ホール)

テーマ；信頼と絆を深める広報の取り組み

◎第4回 農村まるごと保全技術研修会

期日；2月6日(土)

場所；東近江市

(あかね文化ホール)

テーマ；濁水ゼロに挑戦し、琵琶湖を守る取り組み

※詳細な内容が決まり次第連絡させていただきます。

皆さんお誘い合わせの上、多数の方のご参加をお待ちしております。

## 平成21年度内に『体制整備構想(案)』を作成してください。

Q：『体制整備構想』とは何ですか？

A：地域における農地や農業用水などの資源や環境が担っている役割を再認識し、この資源や環境を適切に保全し向上していくために必要と考えられる体制や活動内容を地域で話し合い、将来にわたり充実した活動が展開できるようにするための構想(目標)です。

Q：『体制整備構想』はいつ作成すればいいのですか？

A：『体制整備構想』は、共同活動が将来、自立的に地域に定着するように、協定期間中(5ヶ年)に地域共同活動に係る体制を促進するために作成します。なお、これらの書類は地域協議会へ、協定年度から起算して3年目の年度末までに『体制整備構想(案)』として届け出を行い、5年目の年度末までに『体制整備構想』として承認申請を行います。

Q：『体制整備構想』はどんな内容ですか？

A：『体制整備構想』は、以下の内容を含むものとしてください。

- ①共同活動の現状把握(構成員の役割分担、意志決定方法、資金計画)
- ②将来の体制の見直し(活動の担い手の現状、高齢化を踏まえた概ね10年後の推定)
- ③共同活動の将来像(農地・水・環境が有する社会共通資本としての役割、将来展望)
- ④地域農業の担い手の育成・確保
- ⑤将来展望を実現するために取り組む具体的方策



## わたしたちもがんばっています！

パート1

世代をつなぐ尼子協議会(甲良町)

代表 北川 勝美

3年目を迎えた農村まるごと保全対策事業。当初は手探り状態での取り組みで不安が募るばかりでした。



当地でも町全体計画に基づく高度な環境取り組みとして、法面の保護植物ヒメイワダレソウによる『緑の回廊計画および竹炭による水質浄化』に着手しました。町から提案された1,300mの区間については初年度で植栽完了し、2年目は総延長750mの排水川の法面に挑戦。そして、今年度は自主的に出役頂いた82名の参加のもと6月14日に650mの用水路沿法面の植栽を終えたばかりです。3年目なので植栽作業も手際よく完了しました。特に本年は昨年植栽した排水川で近年にない蛍の乱舞



を見ることができました。

排水川法面を被覆したヒメイワダレソウの中から今にも飛び出そうとする蛍の光は景観形成だけではなく、生態系保全にも寄与しているのだなあと再認識した場面でした。

次に尼子区内を流れる里川の保全に努めています。この里川こそが先人より受け継いだ、尼子区民が誇れる遺産です。この里川の15箇所に竹炭で作った籠を設置し水質浄化に努めています。我々が幼い時に堰き止め、水浴びした頃の川に蘇ってきていることは川の中を泳いでいる魚たちが証明してくれています。

豊かな田園の生き物を育む取組として、手作りビオトープ『めだかの学校』が初年度に完成しました。当初70数匹の小規模校が今では大規模校になり、環境が整い、いろんな生き物と交流をはかっています。トンボは勿論のこと、ゲンゴロウやタガメなど昔見た水中生物の面々を身近で見ることができるようになりました。以上、今後も区民一丸となって、農村まるごと保全向上活動に努めていきます。



# 湖南省の取り組みを紹介します



## 湖南省 産業振興課



今年度もはや5ヶ月が経過しました。

本市の地勢は、市中央部に野洲川があり南北に水利活用が活発なため、野洲川周辺部に耕作農地が多くあり、豊かな田園風景が多くの市民に憩いの場を提供しています。

本市における「まるごと対策」の取り組みは14集落11組織で、426ヘクタールの対象面積で各組織が特色ある活動を子ども達から高齢者までが一体となって行われています。

特に、本市においては後継者不足による担い手の高齢化で年々農家数が減少し、耕作放棄地が増加しているため、優良な農地の維持保全が大きな課題であります。また、最近では、イノシシやシカによる農作物の被害が多く、深刻な問題となっていることから、支援金等を有効に活用し「まるごと」の活動を、地域にお住まいの方々全体の協力で地域行事として取り入れたりすることや、防護ネットの補修など獣害の対策に積極的に取り組む等、各活動組織が創意工夫を凝らし、頑張っており、取り組まれている農地の大部分がほ場整備田であるため、農地の環境は整備されていますが、より豊かな美しい田園風景を目指しています。最新型の大型草刈りを導入した

草刈り作業や大型排水路等の土砂上げ作業を中心に畦畔を整えるなど、農地全体の環境を一層美しく適正に管理していくよう地域の皆さんで取り組まれています。

あわせて、地域の子も達が参加し、ザリガニやドジョウまたはカエルやオタマジャクシといった生きものの生態系を学習するなど、生態系保全にも配慮した取り組みが行なわれています。

営農活動においては、水稻をはじめとするこだわり農産物の作付けを積極的に行ない、最近の消費者ニーズでもある食に対する安全で安心できる農産物の理解を農家自らが行うことが、今後の作付面積の拡大に繋がるのではないかと推測します。

このように、各地域でいろいろな創意工夫された取り組みを、今後も持続し、将来を担う子ども達が魅力ある農村として引き継いでいけるように、「まるごと」からの新しい取り組みを期待していきたいと思ひます。

このように、各地域でいろいろな創意工夫された取り組みを、今後も持続し、将来を担う子ども達が魅力ある農村として引き継いでいけるように、「まるごと」からの新しい取り組みを期待していきたいと思ひます。

このように、各地域でいろいろな創意工夫された取り組みを、今後も持続し、将来を担う子ども達が魅力ある農村として引き継いでいけるように、「まるごと」からの新しい取り組みを期待していきたいと思ひます。

このように、各地域でいろいろな創意工夫された取り組みを、今後も持続し、将来を担う子ども達が魅力ある農村として引き継いでいけるように、「まるごと」からの新しい取り組みを期待していきたいと思ひます。

このように、各地域でいろいろな創意工夫された取り組みを、今後も持続し、将来を担う子ども達が魅力ある農村として引き継いでいけるように、「まるごと」からの新しい取り組みを期待していきたいと思ひます。

このように、各地域でいろいろな創意工夫された取り組みを、今後も持続し、将来を担う子ども達が魅力ある農村として引き継いでいけるように、「まるごと」からの新しい取り組みを期待していきたいと思ひます。

このように、各地域でいろいろな創意工夫された取り組みを、今後も持続し、将来を担う子ども達が魅力ある農村として引き継いでいけるように、「まるごと」からの新しい取り組みを期待していきたいと思ひます。

このように、各地域でいろいろな創意工夫された取り組みを、今後も持続し、将来を担う子ども達が魅力ある農村として引き継いでいけるように、「まるごと」からの新しい取り組みを期待していきたいと思ひます。

このように、各地域でいろいろな創意工夫された取り組みを、今後も持続し、将来を担う子ども達が魅力ある農村として引き継いでいけるように、「まるごと」からの新しい取り組みを期待していきたいと思ひます。

このように、各地域でいろいろな創意工夫された取り組みを、今後も持続し、将来を担う子ども達が魅力ある農村として引き継いでいけるように、「まるごと」からの新しい取り組みを期待していきたいと思ひます。

このように、各地域でいろいろな創意工夫された取り組みを、今後も持続し、将来を担う子ども達が魅力ある農村として引き継いでいけるように、「まるごと」からの新しい取り組みを期待していきたいと思ひます。

このように、各地域でいろいろな創意工夫された取り組みを、今後も持続し、将来を担う子ども達が魅力ある農村として引き継いでいけるように、「まるごと」からの新しい取り組みを期待していきたいと思ひます。

このように、各地域でいろいろな創意工夫された取り組みを、今後も持続し、将来を担う子ども達が魅力ある農村として引き継いでいけるように、「まるごと」からの新しい取り組みを期待していきたいと思ひます。

このように、各地域でいろいろな創意工夫された取り組みを、今後も持続し、将来を担う子ども達が魅力ある農村として引き継いでいけるように、「まるごと」からの新しい取り組みを期待していきたいと思ひます。

## 質問コーナー

(質問)

生きもの観察会を実施した場合、生態系保全のどの項目にチェックが入りますか。

(答え)

啓発・普及の「地域住民等との交流活動広報活動」や実践活動の

「生物の育成・生息状況の把握」に入れられます。ただし、専門家の指導により観察会のまとめや、地域の皆さんへのチラシ配布などによる広報活動が必要です。

## 情報コーナー

★にぎわう農村フォトコンテストを実施します★  
「にぎわう農村」をテーマに、生き生きとにぎわう農村を撮影した写真を募集します。

◎表彰

- ・グランプリ 1点
- ・準グランプリ 2点
- ・入選 数点

◎参加資格

滋賀県世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策に参加している方

◎応募規定

- ・プリントサイズは2L版
- ・応募していない未発表
- ・加工した作品は不可
- ・応募点数は1人3点以内
- ・入賞は1人1点
- ・応募作品は返却しません

◎応募期間

平成21年10月15日まで

※「人・生きものにぎわう農村フォーラム“2009”」のなかで表彰、展示します。

《お問合せ・お申込み》

水土里ネット滋賀  
0748-42-7144まで

詳細はHPをご覧ください。



草刈り作業や大型排水路等の土砂上げ作業を中心に畦畔を整えるなど、農地全体の環境を一層美しく適正に管理していくよう地域の皆さんで取り組まれています。

あわせて、地域の子も達が参加し、ザリガニやドジョウまたはカエルやオタマジャクシといった生きものの生態系を学習するなど、生態系保全にも配慮した取り組みが行なわれています。

営農活動においては、水稻をはじめとするこだわり農産物の作付けを積極的に行ない、最近の消費者ニーズでもある食に対する安全で安心できる農産物の理解を農家自らが行うことが、今後の作付面積の拡大に繋がるのではないかと推測します。

このように、各地域でいろいろな創意工夫された取り組みを、今後も持続し、将来を担う子ども達が魅力ある農村として引き継いでいけるように、「まるごと」からの新しい取り組みを期待していきたいと思ひます。



★引き続き、様々な情報をいち早くお届けするためにインターネットによる情報発信を行います。登録して頂ける活動組織については、本協議会までメール等でご連絡ください。

## Mail

★活動組織の皆様からの情報をお待ちしております。「組織の活動自慢」また「今年度の取組に対する意欲」など何でも結構です。どんどんお寄せください。

# 編集後記

★朝夕の気温も下がり、すっかり涼しくなった今日この頃。いよいよ実りの秋を迎え、収穫作業にお忙しい毎日のことと思います。季節の移り変わりと同時に、これから、新型インフルエンザが流行するとの予測もあります。大変お疲れとは思いますが、くれぐれも健康には留意して農作業やまるとの活動をごんぱりましよう。(A.W)

## 下古賀水と緑を守る会（高島市） 代表 北川 佑一 ～区民の一人ひとりが、生き生きと暮らせる豊かな自然環境を～

下古賀地区は湖西地域・高島市の安曇川中流左岸に広がる水田地帯です。山間に隣接し、昭和40年代に圃場整備された平坦な農地が約75haの農村地域です。近年、専業農家の減少、農業後継者の不足などの農業経営における問題と、少子高齢化の進展により、これまで育まれてきた豊かな景観や生態系、水環境を守る事が厳しい状況にある中、共同活動と促進費活動に取り組んでいる所です。

継続的で重要な課題として位置づける活動に、用排水路に関連する活動があります。年中行事として、用水路の泥上げ、幹線排水路法面の草刈り作業、水路内清掃作業やその周辺の清掃作業と、年に数回の全戸の協力による作業を行っています。又、農道補修や用水ゲートの定期点検と保守は欠かせない活動です。➤



耕作者に対しての代掻き時の濁水防止の啓発活動を推進しつつ、定期的な水質調査に加えて、水質の保全の重要性をさらに理解してもらう為、用排水路経路の共通理解を目的にした勉強会と、用排水の水質調査（透視度調査、COD測定）を、子供会と実施し、啓発活動の一環としました。

心とむ田園景観を守り育てる取り組みとしての、農道・農用地及びその周辺地域全域にわたる草刈り、清掃は大変重要な課題です。排水路管理道の整備並びに、法面の定期的な草刈りに加え、昨年度、カバープランツとしての「センチピードグラス」の植え付け作業に取り組みました。しかし、現状では雑草に打ち勝つまでには至らず、状況を見守っている所です。



促進費活動は、5ヶ年計画として全長約150mの老朽化したU字型用水路を、「ベンチリニューム型」に改修する自主施工を進めており、本年は3年目です。



## 滋賀県世代をつなぐ農村まると保全地域協議会

- 本協議会は、活動組織への支援や、採択手続き、交付金の交付事務などを行っています。
- 書類作成にかかる参考資料や活動事例などの情報をホームページでお知らせしています。

<http://www.shiga-nouson-marugoto.com/index.html>

Email: [kyougikai@shiga-nouson-marugoto.com](mailto:kyougikai@shiga-nouson-marugoto.com)

農村まると

検索

今回は各地で行われている草刈りの状況を掲載しました。



水土里ネットいずみ  
(甲賀市水口町泉)



吉川農村まると保全隊  
(野洲市吉川)



比留田ふるさとを守る会  
(野洲市比留田)

〈※地域の取組写真を掲載しています。みなさんからの提供をお待ちしています。〉